

学校教育目標

『自分のめあてに向かって、自分から意欲的に取り組む子の育成』
～次々と一段高い目標に向かって、みんなで挑戦し続ける集団での学びを基盤に～

大塚小
校訓
優しさ
思いやり

目指す子ども像

おおきな夢をもち おもいやりの心と つよい体をもつ かっこよくやさしい 大塚の子

付けたい資質・能力

『言語能力を高め、思いや考えを自分から表現する力』

- 『確かな学力』…学んだことを生かし、社会で活躍しようとする力
- 『豊かな心』…おもいやりの心を持ち、多様な他者と共に励む力
- 『健やかな体』…しんどいことに立ち向かい、強い体をつくろうとする姿勢
- 『規範意識』…「高学年が低学年の良きお手本」として、自律できる力

学校教育の基本指針

確かな学力

- ◇社会とのつながりを実感できる授業改善
- ◇基礎・基本的な知識・技能の習得の徹底
- ◇言語活動・読書活動の重点化と充実
- ◇探求活動を通じた主体的・対話的で深い学びの実現
- ◇グローバル化時代に対応する実践的英語力の育成
- ◇支援の必要な子どもの学力向上
- ◇理数教育の充実

豊かな心

- ◇道徳教育の充実
 - ・「しなやかな道徳」の計画的実践
- ◇伝統文化や芸術を通じ、豊かな感性・情操を育む教育の充実
 - ・茶道体験の実施
 - ・体験学習の重視
- ◇多様性を理解する姿勢の涵養
 - ・「交流学习」の推進
 - ・人権教育の推進
- ◇あいさつの励行
- ◇自発的な児童会活動
 - ・縦割り活動の実施
 - ・委員会の活性化

健やかな体

- ◇運動やスポーツの実践と体力の向上
 - ・体力テストの実態改善
 - ・行間体育の取組の継続
- ◇保健教育の充実
 - ・“ポストコロナ”における生活様式の転換
- ◇飲酒、喫煙、薬物に関する指導
- ◇安全教育の充実
 - ・“自分の身は自分で守る”安全計画と指導
 - ・「危機管理マニュアル」に基づくリスク管理と対応
- ◇食に関する指導の推進
 - ・望ましい食習慣の確立
 - ・ミスのないアレルギー対応の徹底

規範意識

- ◇支え合い高め合う集団づくりと絆づくり
 - ・「生徒指導4視点」の発揮
 - ・SC、SSWとの連携
- ◇学習規律の徹底
 - ・「学習のきまり」
- ◇基本的な生活習慣の確立
 - ・「学校のきまり」「遊びのきまり」
- ◇いじめを許さない指導の徹底
 - ・早期発見、早期対応
 - ・「いじめ防止等基本方針」の活用
- ◇非行防止・薬物乱用防止の取組
- ◇情報モラル教育の推進

“チーム大塚” “情熱が夢を叶える！”

『「どの子どもも安心できる仲間づくり」から「笑顔あふれる温かい学校」へ』

【一人一人を徹底的に大切に作る学校】

【魅力的で尊敬される教職員が集う学校】

【同じ価値に向かってチームで指導にあたる学校】

【家庭や地域と連携し、子育ての拠点となる学校】

【働き方改革を推進する学校】

【市民ぐるみ、地域ぐるみの教育の核として、家庭・地域に信頼される学校】

“全ては子どもたちのために”

家庭

- ・保護者との信頼関係の構築
- ・家庭の教育力の向上→“家庭を学びの場”へ
- ・PTAの持続的活動の推進

地域

- ・学校取組の情報発信
- ・地域行事の開催→“地域の子は地域で育てる”
- ・学校運営協議会の充実

学校運営の柱

研究部 「自分の考えをもち、対話的に学びを深め合う子の育成」～子どもの対話のスイッチを入れる発問やしかけの工夫～

人権部 「互いの人権を認め、尊重し合える子の育成」～それぞれの夢の実現を おもいやる集団の中で目指す～

生徒指導部 「自分や友達を大切にし、自ら考え行動する子の育成」

保健部 「自らの健康課題について主体的に取り組む子の育成」

チーム担任制

一人一人に対する支援

子どもの命を守りきる

保幼小、小小、小中、各関係機関との連携

ICT・GIGA 端末の効果的な活用 (2ndGIGA)

カリキュラム・マネジメント

働き方改革